

若者、附中

熊本大学教育学部附属中学校

学校だより
平成31年3月1日
第19号
《文責：高木》

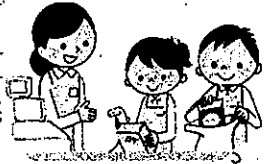
勉強できる日増に感謝すること
かぞえたのでは
ないかと思ひます。
さらに二回り大
きく成長した二
年生の今後に期
待したいと思ひます。

待したいと思ひます。

何かを変えるとは。

三年一組 池田

思い返せば、あ、という間だ、
た三年間が今終わりを告げよう
としている。この三年間を主に
クラスの指揮者としての役割を
ふまえてみて、一年生の頃
クラスの練習への意識はなかな
か上がらず私も注意することな
く一語に会話を楽しんでいた。
時には担任の先生に厳しい言葉
をかけたこともあった。二
年生の頃、他のクラスの友人に
敬語中に話す人も悪いけど、注
意をする口調が厳しいと嫌だと
思っていた。その頃の私は怒らな
ればよいとだけ考え注意をする



生が切々所の事業所にわかれ、
3日間の職場体験学習を行
いました。2年生の仕
事ぶりを見学に行った
職員からは、2年生が
がんばっているという
話や、その様子がしっかり写っ
た写真の報告をうけました。
普段の生活では学べない体験
を通して、自分の新しい可能性
に気づくこともあったでしょう。
また、当たり前のように生活し

こともなかった。そして迎えた
三年生。最初の練習の様子は今
までと同じ。どうまとめるか考
えているとふと思いついた。同
りを変えるには自ら変わるしか
ない。そう考え、すぐさま本質
を素直にという素直をみんなに
話した。会話の楽しさはよくわ
かるが、今しかできない楽しさ
の話を、やはり自ら変われば周
りの意識も変わった。自主的
率先して。そんな言葉が頭に残
った。今の状況を変えたい時、
私は自らが行動し自らをまずは
変える。
みなさんの中に今変えたい部
分があるだろうか。何かを変え
たい時、人が変わることと期待
せず自分と向き合い自分を変え
る。これが私の三年間の教訓だ。

未来を創造する

二年三組 元村

皆さんは、今回の総合学習で
どの様な事を感じましたか。そ
れぞれが現在ある物事に対して

課題を出し未来を想像したと思ひま
す。私は「実際に社会の課題を解決
するには、より多くの検討が必要だ
」と感じました。

課題解決において、多面的な見方
は不可欠なものです。しかし、多面
的に見ると新たな問題が生じやす
くなります。実際の社会では、新たに
工夫した事柄に次から次へと問題が
出てきてはいけません。ですから、
検討する中で問題を解決し、考えを
練り上げる必要があります。

「より良い未来を創造する」
よく聞くフレーズですが「想像」
と「創造」に変えるのは難しいこと
です。私は、「創造」するには物事
を論理的に考える力等の多くの力が
必要だと思ひます。そして、これら
には日々附中生が養っている力も含
まれているはずですよ。

私は、今回の総合学習で、未来思
考科を含む全教科で身に付ける力を
明白にする意味を知りました。これ
からは、私自身が、附中生が、未来
の社会を担う一人の人間として成長
できるような授業の一つ一つを大切に
していきたいです。

2月も終わりに...

2月も、ついに終わります。
そうすると、来週は公立後期選
抜入試、そして卒業式です。本
当にはやいものです。2年生の
皆さんには、健康に留意して、
有終の美を飾ってほしいと思ひ
ます。

有終の美といえは...
一、二週間ほど前から、す
でに進路先が決まったの
年生が、朝から玄関の前
をどつどつとする姿が見ら
れるようになりました。そして
すばらしい事に、そのボランテ
ィアに参加する人数も増えてま
っているようです。「今、自分に
できる事、やるべき事は何かを
考え実践する。」言っはやすし

※2月31日のひなまつりの日に、本校グラウンドで、教職員サッカー大会が開催されます。小田キャプテンのもとと募集された附中職員チームは、二連覇めざして、がんばります。
皆様、応援の心を込めて応援をお願いします。